
電子レンジ革命

Qchadell

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電子レンジ革命

【Nコード】

N5743T

【作者名】

Qchadell

【あらすじ】

電子レンジは便利だ。だけど横着になりすぎてませんか？

電子レンジは実に便利だ。

次の例を出す。

夜中に不意に目が覚めてしまった。昼寝が原因らしい。それもまあばつちり。1時間近く寝れそうもない。腹が減って来た。冷蔵庫を開けてみる。八宝菜がある。冷たい八宝菜は美味しくない。よし温めよう。

もしも電子レンジが無かったらどうなるだろう。

おもむろにガスの元栓を開く。フライパンをコンロの上に置き、換気扇をつける。20秒ほど待ち、八宝菜をフライパンに入れる。箸を取り出す。かき混ぜながら温める。そろそろ良いだろう。皿に八宝菜を投入する。食す。美味い。食す。更に美味い。食す。もう良いな、夜中だし。冷蔵庫に戻す。

非常にめんどうだ。夜中にジュウジュウと音を立てながら温まっていく八宝菜をかき混ぜながら、人は何を思うのだろうか。

しかし電子レンジがあることによって上の工程が実に簡略化される。

おもむろに電子レンジを開ける。八宝菜をレンジに入れる。閉じる。1分にセットし、待つ。食べる。美味い。食べる。更に美味い。もう良いな、夜中だし。冷蔵庫に戻す。

楽だ。だがしかし、この食への簡略化が、生活習慣病の原因になっていると考える人もいるだろう。

まあそれはどうでも良い。

問題は私の家にある電子レンジだ。

ある日突然、電子レンジの扉が音を立てて勢いよく開いた。見てみると、扉がブラーンと電子レンジにぶら下がっているかのように垂れ下がっていた。普通なら90度の所で止まるはずだ。一度扉を閉じてみる。ボタンと開いてまた垂れ下がる。仕方なく私と父親は

電子レンジにくぎを打ちつけ、南京錠をつける変な金具を取り付けた。電子レンジを閉じることにかチャツと取りつける。事は解決した。

しかし、それからだろうか、腹立たしい事件が起こるようになったのは。

とある日。昼飯を温めようとした時のことだ。

昼飯のメニューは八宝菜、クリームコロッケ、煮込み豆、キャベツとレタスのサラダだった。そのおかずがお弁当に敷き詰められていた。弁当を電子レンジに入れる。1000ワットで1分ぐらいか待つ。チーンとなった。取り出してテーブルに置く。ご飯は別に温めなくてもよい。腹が減った。箸で八宝菜を掴み、口に運ぶ。

ぬるい。

1分も1000ワットで熱したのに、ぬるい。糞、レンジ壊れたか？ そう思い、もう一度レンジに弁当を入れようとした時、異変に気付いた。

煮込み豆とキャベツレタスサラダから勢いよく湯気が立ち上っている。私は不安を胸にサラダを口に運んだ。

熱い。

馬鹿みたいに熱い。馬鹿なのか。サラダと煮込み豆が熱く、八宝菜とクリームコロッケが

冷めたまま。

サラダはシャキシャキとした食感は微塵もせずシンナリしてる、豆はとてつもなく乾燥していて口の水分が全部持つて行かれそうになった。

八宝菜は、冷たくどろりとした食感が口中を覆い、味もあまり無い。クリームコロッケは硬い。

それ以来私は弁当を温める機会が来ると、サラダや豆を弁当から取り出してレンジでチンするようにしている。

クソレンジめ！ と電子レンジを罵倒してもどうにもならない。

全て我々人類が電子レンジに依存し過ぎた結果に過ぎないのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5743t/>

電子レンジ革命

2011年10月5日07時54分発行